

災害に強い保管庫で顧客の信頼に応える — 東栄商事株式会社 トーエイデポ —

企業概要・沿革

当社は、1949年（昭和24年）、武居商事として建築業を開業、1955年に建物賃貸業開始、1961年に法人化し、同時に建設業の建設大臣許可を取得した。1963年に宅建業を開業し、1966年には古物品売買を始めた。1993年に現代表が代表取締役に就任すると、戸田事業所建物を建設し、翌1994年から現在の主力事業である倉庫業を開始し現在に至る。2022年には事業の多角化を目指して、休眠状態にあった宅建業を再開した。

当社はお客様のお荷物をお預かりし、人が常駐し人を介して、無人ではできない安心・安全・便利なトランクルームサービスを行っています。



当社 戸田事業所

戸田事業所内部



7つの安心！

- ① 耐震耐火倉庫 インドアトランクルーム
- ② 国土交通省 優良トランクルーム認定取得
- ③ 24時間防犯警備体制
- ④ 防犯カメラ
- ⑤ ダブルドア・トリプルロック
- ⑥ 損害賠償制度
- ⑦ 高性能大型除湿機完備



7つの便利！

- ① 保管料金は日割り計算方式
- ② 簡単契約 郵送での契約も可能
- ③ 豊富な保管メニュー サイズ変更も当日OK
- ④ 4つの出し入れ方法 業界唯一のドライブスルーも
- ⑤ 年中無休！何度でも出し入れ自由！
- ⑥ 大型車も楽々出入り
- ⑦ 整理収納アドバイザーがサポート

事業者向けトータルサポート

オフィスに関するお悩みを
トータルでサポートします！



BCP策定に取り組んだ理由

当社は、お客様の大切な荷物をお預かりしており、災害時にも安全に守ることが責務であると考えている。そのため、2021年3月には地震を想定したBCPを策定した。

当社の戸田事業所は、荒川の左岸に位置し、地震に加え、洪水による浸水被害が一番の脅威と感じている。荒川氾濫のハザードマップでは、最大浸水深が5m、浸水継続時間が3～7日にも達するとの予想であるため、お客様の荷物を安全にお守りするにはどうすればよいかを念頭に、BCPを見直す必要があると考えていた。

板橋区簡易型BCP策定支援にはフォローアップ制度があることを知り、荒川氾濫を想定したBCP策定を決意した。



東栄商事株式会社
代表取締役 武居弘市

策定にあたり特に注力した点

①従業員の安全確保を最優先に考え、その上でお客様の荷物を守ることができるよう「マイ・タイムライン」を策定した。

②BCP発動時、従業員の安全確保と荷物を守る行動及び事業再開に必要な行動の指針となる文書であるのか、またどのように行動するのかイメージがわくような内容となっているのかに注意した。

③年に1度決まった時期に訓練実施とBCP文書の見直しをすることを社内ルールとして決めるとともに、従業員には経営者不在時でも対応できるよう、BCP策定時から従業員に相談するようにした。

BCP策定の感想・効果

2年前に初めてBCPを策定した際には、自然災害として地震を想定したが、今回のフォローアップでは、荒川氾濫による浸水を対象に戸田事業所のBCPを策定できたことはよかった。

共に理解し、行動できるように従業員と一緒にBCPを策定した。しかし、BCPは理解しているだけではだめで、いざといったときに行動できることが大切であり、そのためには、少なくとも年一回は訓練を行う必要があると考えている。また、年々自然災害の規模が大きくなっていること等、環境の変化もあるので、適宜見直しが必要である。

経営トップとして災害時に従業員への指示が迅速にできるようになることも大切であるが、従業員がBCPに則して自主的に行動してくれることに大きな期待をしている。



新しく設置した防災用物置
地震対策に自給自足ができるグッズ等と
ゲリラ豪雨対策に土嚢を収納

事業者情報

事業者名	東栄商事株式会社
本社所在地	板橋区本町15番20号
戸田事業所所在地	戸田市上戸田1丁目1番5号
設立	昭和36年2月
資本金	3,000万円
従業員数	7名
代表者	武居弘市
Tel	03-3964-2300
E-mail	info@t-depot.co.jp